

フレキシブル・クレジットライン

## ポーランド、205 億ドルのクレジット ライン要請に向け IMF と協議へ

IMF サーベイ・オンライン  
2009 年 4 月 14 日



ポーランド・グダニスクの造船所：IMF は、ポーランドは強固な経済ファンダメンタルズと政策枠組みを有していると述べた。(写真: Katarina Stoltz/ロイター)

- ポーランド、205 億ドルの予防的信用枠要請に向けて話し合いへ
- IMF 新規融資制度要請、メキシコに続き 2 カ国目に
- ポーランド、堅実な経済政策実施の実績

ポーランドが、優れた経済実績を有する加盟国を補強し世界経済危機の影響から保護する目的で設立された、IMF の新規信用枠の要請に向け協議に入ることが明らかになった。同信用枠要請に向けて協議を行うのは、ポーランドで 2 カ国目となる。同国のドナルド・トゥスク首相はワルシャワで、IMF のフレキシブル・クレジットライン (FCL) の下で、1 年 205 億ドルの予防的取極めの要請を行う意向を表明した。

IMF 理事会は近日中に、メキシコからの 470 億ドルの予防的信用枠への要請の検討に入る。この新たな信用枠は、3 月に発表された IMF の世界経済危機対応能力の強化を狙った融資制度改革の一環として設立されたものである。

### 優れた経済実績を有する加盟国

ドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事は、トゥスク首相の発表を歓迎、「我々は、国際的信頼を高める手段として、優れた経済実績を有する各国に対し同クレジットラインの活用を呼びかけたが、この度のポーランドの積極的な対応を非常に喜ばしく思う」と述べた。

「ポーランドは、堅実な経済政策実施の実績を有している」と同専務理事は述べるとともに「同国は、力強い経済ファンダメンタルズ並びに政策枠組みを有しており、

ポーランド政府当局は、この確固たる実績の維持に向けたコミットメントを表明している。以上を鑑み私は、IMF 理事会のポーランドの FCL 取極要請の承認に向け、早急に対応したい」と、語った。

### より柔軟な対応

融資制度改革の一環として IMF は、新興市場国を主とする優れた経済実績を有する国へのある種の保険証券とも位置づけられる、フレキシブル・クレジットラインの設立を発表した。FCL へのアクセスは厳しい資格基準を満たしていることが条件である。しかし、信用枠の承認を得られたならば通常の IMF 融資と異なり、特定の政策目標に縛られることなく融資引き出しが可能とされている。

4月2日のロンドン・サミットにおいて、先進並びに新興市場国から成る 20 カ国グループは、IMF の現下の危機への対応能力を強化するために、その融資財源を最終的に 7,500 億ドルまで引き上げることで合意している。

本稿へのご意見は [imfsurvey@imf.org](mailto:imfsurvey@imf.org) まで。

本稿は、IMF Survey magazine: [www.imf.org/imfsurvey](http://www.imf.org/imfsurvey) の記事を翻訳したものである。